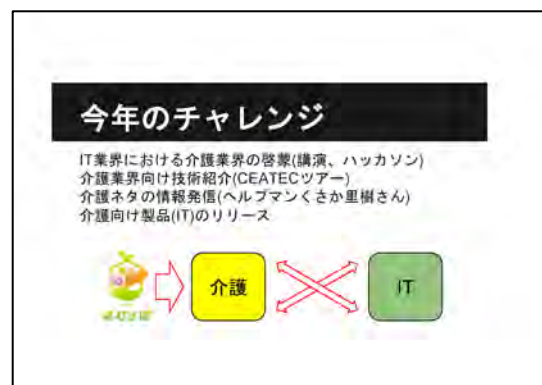
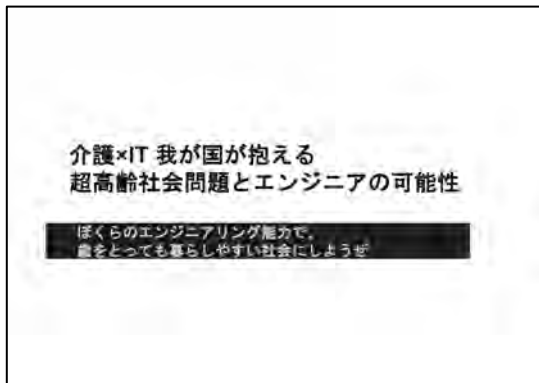


《講演① 介護×IT》

- ・ 講師：竹下 康平 氏 (株式会社ビーブリッド 代表取締役)
- ・ タイトル：「我が国が抱える超高齢社会問題とエンジニアの可能性」
- ・ 講演内容：以下、資料抜粋



## 《講演② 水産×IT》

- ・ 講師：三嶋 順 氏(アンデックス株式会社 代表取締役)
- ・ タイトル：「水産業者向け減災システムのご紹介」
- ・ 講演内容：以下、資料抜粋

**ANDEX**

水産業者向け減災システムのご紹介

アンデックス株式会社  
代表取締役 三嶋 順

**製品概要**

海水の水温チェックを遠隔でリアルタイムに行う水産業者向けシステム

- ・ 養殖所等の海水温チェックを遠隔地でも行うことができるシステム。水温を記録し数値の見える化をします。
- ・ 異常気象などの災害時、海水温変化による水産物の死滅を未然に防ぐことを目的としています。
- ・ 宮城県沿岸地域は水産事業者の多い地域のため今後需要が見込まれる製品です。

【宮城県内の養殖場一覧】

養殖場	連絡先
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111
アラスカ	水産部 水産課 水産課長 三嶋 順 〒981-8501 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL: 022-261-1111

**ご利用イメージ**

※「プイ」に水温計を数カ所設置し、温度のデータを随時で取得し1時間毎の温度情報を記録。スマートフォンからいつでも確認でき、遠隔地にいながら水温チェックが可能になります。  
※その他、様々な情報を記録する仕組みを構築中。  
※水温情報などをスマートフォンで確認

水温の低いポイントへ移動させるなどして水産物の死滅を防ぐ

**製品がお客様にもたらす影響・メリット**

水産物の育成に活かす

- ・ データが蓄積されるので傾向がわかる
- ・ 水産物の育成に活かすことができる
- ・ 災害や天気の変化による水温の変化が細かく記録される
- ・ 水産物の死滅防止に繋がる
- ・ 水産物の数、品質が安定する
- ・ 産地産品の水産物の価値が上がる

後継者へ情報を残す

- ・ 過去の情報が電子ベースでわかりやすく残る
- ・ 後継者への引き継ぎに活かすことができる

電子ベースで水温履歴を蓄積

水温が低くなっているのに気がつくのが遅れ、水産物の死滅を防ぐことが難しくなる。このシステムが実現すれば水温が低くなる前に水温の低いポイントへ移動させることができる。また、これまで現場にもよる水温計をばらばらに設置していたのを一括で、初期コストをからずCO2の削減も期待できる。

これまで、あらゆる作業を自動でこなすことができなかった。このシステムが実現すれば、水温データが蓄積され、傾向がわかる。また、過去の水温データが蓄積され、傾向がわかる。また、過去の水温データが蓄積され、傾向がわかる。

**製品開発の体制**

**内部体制**

アンデックス株式会社

社長室  
開発部

プロジェクト

最終責任者  
プロジェクト管理者  
システム担当者

**外部協力**

- ・ 東北大学 工学部 情報システム学専攻 松田 尚志 教授
- ・ 宮城県水産士会 青葉支部
- ・ 宮城県 宮城県水産事務所 水産課
- ・ みやぎモバイルビジネス研究会

協力依頼  
協力

**プロジェクト担当者**

- ・ 最終責任者 三嶋
- ・ プロジェクト管理者 鈴木
- ・ システム担当者 5名

**現状/課題/今後の計画**

**現状**

- ・ 水温計採用プイを松島湾の力手養殖所付産品に設置済み。1日1回業務所直轄で確認。
- ・ 海組に水温計採用センサー、GPSを設置済み。
- ・ 温度を測定し管理者にメールで送付している。

**課題**

- ・ 水温等の情報集め(調査費はマイの設備費に計上済)
- ・ テスト設備にかかるコスト (プイ1つあたり約20万円/クロロフィルセンサー1個1000円)

**今後の計画**

平成26年 8月 クロロフィルセンサー設置テスト  
9月 漁業者とアライン (システム仕様、調査費用の負担)

10月 製品モックアップ制作開始

平成27年春〜 テスト運用開始

### 《講演③ 農業×IT

- 講師：岡本 信也 氏 (株式会社アイティコワーク 取締役)
- タイトル：「農業×IT 課題と未来」
- 講演内容：以下、資料抜粋



#### 自己紹介 2

岡本 信也  
青森県出身 青森県在住  
花卉農家の長男

2001年 株式会社サン・コンピュータ 入社  
2012年 株式会社アイティコワーク 設立

**農家と私**

- 株式会社ナチュラルアート  
農業ビジネススクール 1期生 (2011年)
- 農家のこせがれネットワーク  
交流会参加 (2011年)

#### なぜ起業？なぜ農業？ 5

2003年～	東京勤務	業務システム、Webサービスエンジニア
2011年 3月	東日本大震災	ソーシャルゲームの開発
2011年 11月	青森に転勤 (Uターン)	
2012年 4月	起業	前社長からのすゝめ

なんのために仕事しているんだろうか？  
このままで自分の人生に足あとがつくんだろうか？

#### 今後の政策 14

2014年	減反政策 (段階的削減)	農地中間管理機構 (農地バンク)
2018年	減反政策 完全廃止	耕作放棄地の 集約・買収
20XX年	TPP??	全中改革??

現在の政策は時代背景との乖離が大きい。  
今後は全体的に「農地集約」や「企業参入」など規制緩和が進む。  
農業も他の産業と同じ様に競争力が求められる時代に。



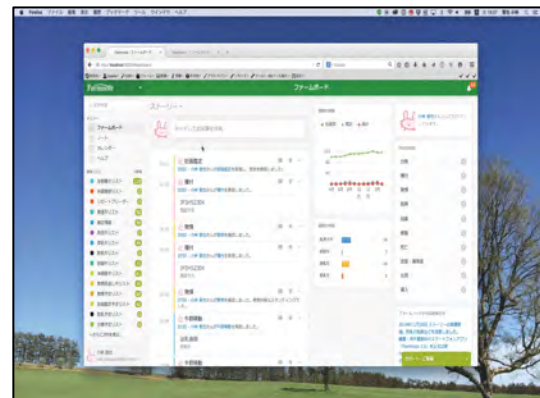
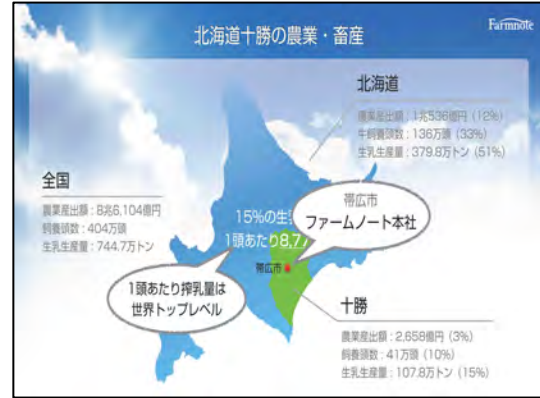
#### まとめ 30

競争 激化	天候 不順	なり たい 姿
高齢化	人手 不足	
放棄地 拡大		

- 農業ITはなりたい姿を叶えるための手段
- どんな農家になりたいのかイメージを明確にしよう。まずそのサポートをする。

《講演④ 酪農・畜産×IT》

- 講師：小林 晋也 氏 (株式会社ファームノート 代表取締役)
- タイトル：「畜産・酪農×IT」
- 講演内容：以下、資料抜粋



### 3.5.2 Web 記事

Web 記事は、当事業の情報公開 Web サイトあるいは、広報効果が期待できる Web サイトに掲載することで、当事業に関連する記事を掲載することで、学び直しの機運醸成、学び直しの機会、環境整備に関する情報提供、また当事業の普及等を狙う。平成 26 年度は、医療×IT に関する調査記事（当事業サイト）、第 1 回の起業塾(Publickey)の取材記事を掲載した。

Publickey ([http://www.publickey1.jp/blog/15/aiit\\_pr.html](http://www.publickey1.jp/blog/15/aiit_pr.html))



### 3.6 事業成果の普及

当事業で開発した教育プログラムの普及を目的とし、Web サイト等での情報公開、大学関係者を招集して情報公開・意見交換を行った。

#### 3.6.1 当事業の情報公開 Web サイト

当事業の情報公開を目的とした Web サイトを構築した。今後、継続的に当事業の成果(教育体系、スキル体系、シラバス、標準履修時間割、学生アンケート等のコンテンツ等)の公開、各種委員会等

の活動報告、起業塾等の開催案内を随時掲載した。今後はこれらの普及活動のほか、重点科目等の授業動画公開(本学の動画配信サイトあるいはJMOOC・iTunes U・YouTube等)、Facebook等ソーシャルメディアの活用を行う。

<http://bds.aiit.ac.jp/>



### 3.6.2 事業成果報告書

当事業成果報告書は、印刷・製本版を関係教育機関、連携企業等に配布し(100冊)、またPDF版を当事業の情報Webサイトに公開する。

### 3.6.3 産業技術大学院大学 Web サイト

本学の公式 Web サイトに当事業に関する情報を随時掲載したり、当事業の情報公開 Web サイトとの相互リンクを張ったりする等し、相互連携により、事業成果の普及を図る。

<http://aiit.ac.jp/news/view/433>



### 3.6.4 大学院説明会

本学の大学院説明会で、当事業成果の教育プログラム(「事業アーキテクト」コース)に関する案内を行った(資料は付録 § 5.3 参照)。

### 3.6.5 ワークショップ

当事業成果の普及活動、情報公開、成果・進捗報告のため、関係教育機関・企業等対象の「高度人材養成のための社会人教育ワークショップ」を開催した(§ 2.4 参照)。また、当日の成果報告の発表資料は付録 § 5.2 を参照されたし。

### 3.6.6 学修コミュニティイベント（起業塾）

当事業成果の普及活動及び社会人学び直し啓発のため、一般対象の起業塾を開催した（§ 3.5.1 参照）。

### 3.6.7 Web 記事

当事業成果の普及活動及び社会人学び直し啓発のため、当事業に関する Web 記事を掲載した（§ 3.5.2 参照）。